懇ニ努る希望す」

一、答辞、 九州聯合会、 森 啓守、

（要旨）「斯くも盛大に我が同盟の第二回大会が開催されたる事を中央の同志諸君に衷心から感謝するものである。過去二ケ年の我々の闘争は頗る重圧の中に果敢に闘って来た。本大会は来るべき一年の闘争方針を決定する重大なる役割を持つものである事は充分確信し、今時に我々は最後迄大会をして意義あらしめるべく闘ふ事を誓って答辞に代へるものである。云々」

△緊急動議、（右小柴元）同協

「本大会は従来の慣例を破って、議席の配置が、労働クラブの問題を中心として、賛成反対両派に区分し、反対派のみ総会に移した事は如何なる観点に立って配置したか本部の弁明を求む」

△議長 「議席の配置は全て立合人大会準備委員会に依ってなされたものである」

△質 久保田 「然らば準備会の弁明を求む」

△白鳥云近（本部） 「大会準備委員会は決してクラブ問題で議席を区分したのではなく、聯絡の便宜上斯く配置したのみで、又如何様に配置されてもよいとも準備委員会に任してあるではないか」

△質 久保田 「大会には慣例がある、何故に今回に限り、之を破って如斯取扱ったか、本部は此の議席を従来通りに変更する意思なきか」

財團法人 協調會